

129 森鷗外『舞姫』を読む ～時代の波に翻弄された一青年の悲劇～

森鷗外の代表作『舞姫』は、ドイツ土産三部作の一つであり、自らのドイツ留学体験に基づいた自伝的性格の濃い作品です。ここでは、立身出世を目指しながら



も異国の地で近代的な自我に目覚めた一青年の苦悩と挫折が哀しく描かれています。この講座では、明治という時代の波に翻弄された主人公・太田豊太郎の人物像に迫りたいと考えています。

【日 時】 10/26 (土) 10:30～12:00

【講 師】 福森 裕一〔博士(文学)〕

受講料 一般：1,900円 本学学生・卒業生：1,600円 定員：20名

申込締切：10/9(水)  